

火の魂の仲間たち、いつも本当にありがとう。
蒸し暑い季節なので、体調管理をしっかりしていこう。

今月の社長からの手紙は、0.9と1.1の人生の差というものを書いてみたいと思うので、特にこれから社会に出る人や社会に出たての人には、私が実感している人生の差を確りと学んで欲しい。

この0.9と1.1という数字は、仕事に対する自分の成長を示している。

0.9の人は、仕事に対しチャレンジすることもなく、目の前の仕事だけをこなしている人で、年齢を重ねるごとに社会や会社からの評価は常に前年の90%の評価を重ねることになる。その結果、10年経って30代になり気が付いたときには、若く成長を望む人に立場を逆転されてしまったりするのだ。

こうなると、ただ毎日同じことだけを考えて仕事をして成長していない人は、残念ながら社会や会社から必要とされる人間になるのが難しくなる。

しかし、仕事を通して色々なことにチャレンジし、自身の成長に向き合ってきた人は、毎年必ず110%の評価と成長が確約され、30代を迎えたときには、社会からも会社からも必要とされ、毎年0.9の成長で生きていた人との人生の差が、地位や収入、社会的立場、会社としての存在価値に大きな差となって現れるのだ。このたった0.9と1.1の0.2差なんて、20代後半になるまで微々たる差で、自分も他人も一年一年を見ていくと全く気づかないのである。

しかし、私はこの毎年0.2の成長の差が、途轍もない人生の差を作っていることに気がついたのだ。

昨日より今日、1.1の成長をし、更に翌日に今日の自分を越える成長をする。ライバルは他人ではなくて、昨日の自分。毎日1.1のチャレンジをして成長することによるたった0.2の差が、20代から30代にステージが変わった時に、2倍、3倍、5倍、10倍の収入の差を作っているのです。

普通の人より、少し早く来てやるべきことを考える。

周りの人より、少しだけ残って今日の振り返りと明日の仕事を準備する。

みんなが休んでいる時に、少しだけ目指すポジションの勉強をする。

20代を人より1.2倍、仕事をしてチャレンジして成長した差が、30代に一気に生活の自由度として出てくるし、家族ができて豊かな人生にする秘訣である。

ライバルは他人ではなく、真のライバルは昨日の自分だ。